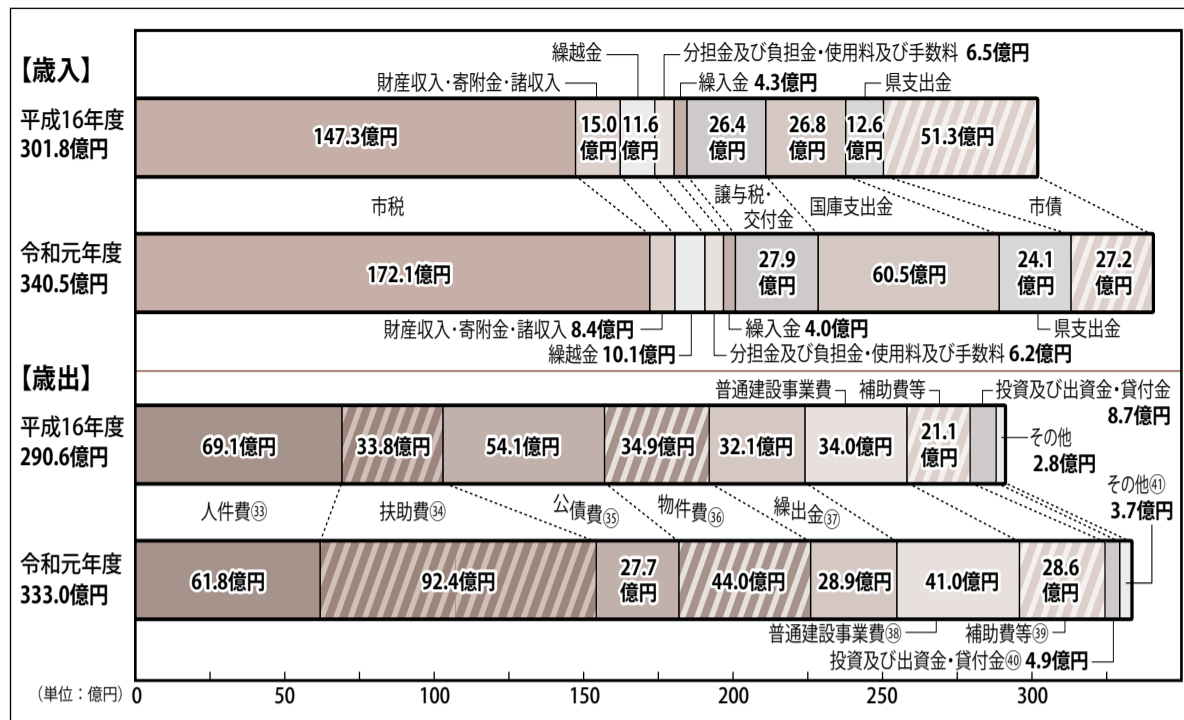


## 6. 15年前との比較(決算額)



【歳入】国庫支出金が2倍を超える増加をしていますが、生活保護や児童手当など、国などから補助を受ける事業が増加しているためです。一方、市債がおよそ2分の1に減少していますが、建設事業に係る市債が減少しているためです。

【歳出】扶助費が約3倍に増加しており、15年前と比べ歳出の構造が変化しています。扶助費は、多くのもので制度上支出が義務付けられており、削減が困難な経費です。財政の硬直化が進んでいるといえます。

**用語解説**  
 ③人件費…職員給与や議員報酬など ④扶助費…社会保障制度の一環として、生活維持を図るための経費 ⑤公債費…市債の償還金など ⑥物件費…業務委託費や機器賃借料、光熱水費、消耗品費、通信費、印刷費など ⑦繰出金…特別会計に渡す財源など ⑧普通建設事業費…道路や公園などを整備する経費 ⑨補助費等…市が交付する補助金や保険料 ⑩投資及び出資金・貸付金…中小企業などに対する貸付金など ⑪その他…維持補修費、積立金、災害復旧事業費など

## 令和元年度 行財政改革の取り組み

担 経営企画課 ☎94-4846

伊勢原市第5次行財政改革推進計画に位置付けられている68の取組項目の、令和元年度の取組実績がまとまりましたので、お知らせします※行財政改革推進計画やその取組状況などの詳細は、市ホームページに掲載しています

達成状況 ( )内は取組件数に占める割合

A 計画を上回る	17件( 25.0%)
B 概ね計画どおり	37件( 54.4%)
C 計画どおり進捗せず	14件( 20.6%)
合計	68件(100.0%)

実績効果額 ( )内は当初の見込額

歳入	2億5999万円(1億4073万円)
歳出	1億4923万円(1億5987万円)
合計	4億 922万円(3億 60万円)

## 人事行政の運営状況について

担 職員課 ☎94-4874

「市人事行政の運営等の公表に関する条例」に基づき、人事行政の運営状況(概要)を公表します。詳しい内容は、12月下旬以降に市役所1階市政情報コーナーや市ホームページでご覧になれます。

### 1 総括 (千円未満四捨五入)

#### (1) 人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口(年度末)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率(B/A)
令和元年度	10万419人	332億5998万6千円	6億8394万1千円	61億7608万8千円	18.6%
平成30年度	10万621人	306億119万5千円	9億5411万円	61億4831万8千円	20.1%

※実質収支は、歳入歳出の差引額から翌年度に繰り越すべき財源を控除した額です

#### (2) 職員給与費の状況(普通会計予算・決算)

区分	職員数(A)	給与費				1人当たり給与費(B/A)
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
令和2年度(予算)	700人	24億9449万円	7億5142万円	11億1805万9千円	43億6396万9千円	623万4241円
元年度(決算)	696人	25億697万5千円	8億2884万7千円	10億8266万8千円	44億1849万円	634万8405円

※職員手当には、児童手当、退職手当を含みません

### 2 職員の平均給与月額 (一般行政職)

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額*
令和2年4月1日現在	41歳10月	32万1047円	43万1619円
平成31年4月1日現在	42歳2月	32万3215円	43万9007円

※給料のほかに職員手当を含みます

### 3 特別職の報酬などの状況 (令和2年4月1日現在)

区分	月額	区分	月額
市長	86万9400円	議長	54万4000円
副市長	71万1550円	副議長	46万9000円
		議員	43万5000円

※市長は給料を10%減額、副市長は5%減額しています

### 4 職員数の状況 (令和2年4月1日現在) 単位:人

区分	職員数	対前年増減数
一般行政部門	406( 57)	- 5(+15)
特別行政部門(教育・消防)	199( 24)	- 6(+ 6)
公営企業等会計部門	51( 3)	+ 2(± 0)
合計	656( 84)	- 9(+21)

※( )内は再任用および任期付短時間勤務職員を外書きしています

## 秦野市伊勢原市環境衛生組合の財政状況

担 秦野市伊勢原市環境衛生組合 ☎82-2500

伊勢原市と秦野市のごみ処理と火葬業務は、秦野市伊勢原市環境衛生組合が行っています。組合の令和2年度予算執行状況と元年度決算状況を公表します(1万円未満四捨五入)。

### 1 令和2年度予算執行状況 (令和2年9月末現在)

予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
29億400万円	12億4889万円	43.01%	11億3037万円	38.92%

※令和2年9月末現在、「一時借入金」はありません

### 2 令和元年度決算状況

#### (1) 決算総額

前年度と比較すると、歳入は4億1070万円(12.4%)の減、歳出は4億3721万円(13.6%)の減となりました。

歳入決算額	歳出決算額	差引額
28億9669万円	27億6672万円	1億2997万円

#### (2) 歳入

歳入は、両市からの分担金が全体の59.1%を占めています。両市民の1人当たりの分担金負担相当額は約6555円です。

※令和2年3月末現在の両市の住民基本台帳人口26万1149人により算出しています

#### (3) 歳出

歳出は、両市から排出されたごみの処理や火葬業務などの衛生費が全体の65.8%を占めています。今後も両市民の快適な生活を保てるよう適正な業務遂行に努めます。

#### (4) 公有財産の年度末現在高

行政財産(土地)	6万2592㎡
行政財産(建物)	2万5414㎡
施設整備基金	1533万円
減債基金	7743万円
職員退職給与準備基金	5078万円

#### (5) 組合債の年度末現在高

ごみ処理施設整備関係	37億7600万円
斎場施設整備関係	17億9096万円
合計	55億6696万円

※抜き取ってご覧ください